

パトロール時の服装や注意点

(夜間時)ライトや
反射材などを身に
着ける

動きやすい服装・靴



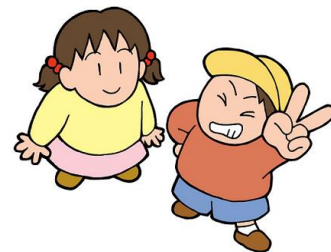
ブルゾンやベスト、
帽子などを着用

地域安全活動の
腕章

- ◎防犯パトロール中であることが周囲に分かるような服装で活動を行う
- ◎複数人で活動する (単独では活動しない)
- ◎交通事故など自己の安全管理や健康状態に十分に気を付ける
- ◎犯罪や非行等を見掛けた場合は、直接注意するのではなく、交番や警察署に通報する

～これらの情報も活用しましょう～

- ◆みやぎセキュリティメール
- ◆児童生徒の安全確保に向けた一斉配信メール
- ◆仙台市防犯協会が発行する活動の手引きや防犯広報誌
…など



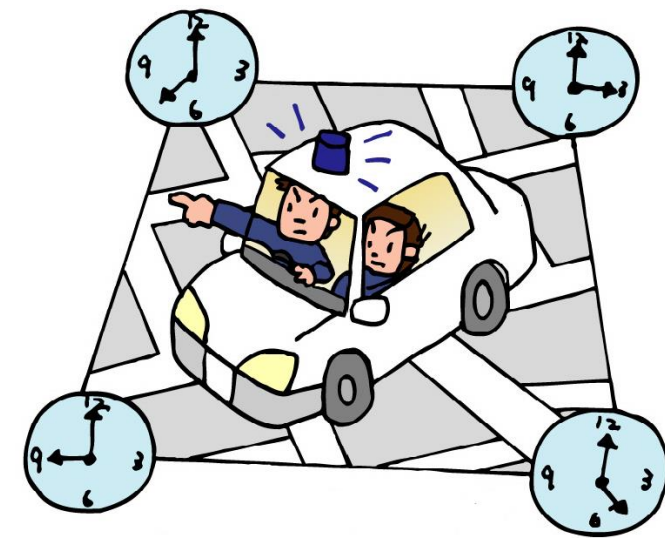
●このリーフレットに関するお問い合わせ

仙台市市民局市民生活課 (☎022-214-6146)

●防犯協会の活動に関するお問い合わせ

活動区域を所管する警察署生活安全課または仙台市防犯協会連合会事務局
(☎022-214-4261)

防犯パトロールの ポイント



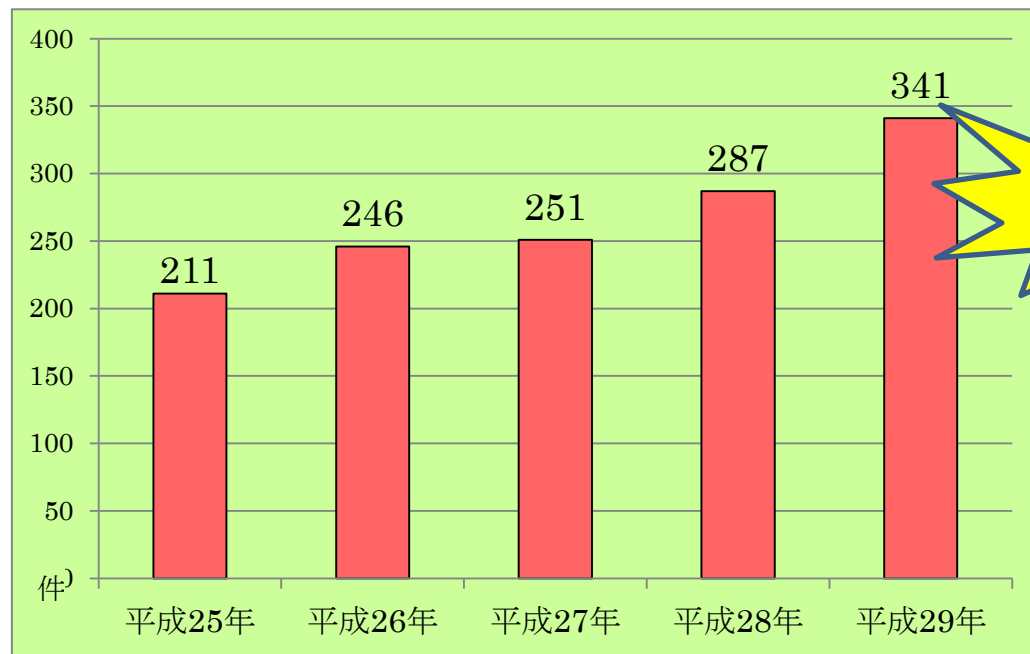
地域における防犯パトロールは、地域の犯罪の未然防止に寄与するとともに、地域住民や学校等と連携した防犯ネットワークが構築されることで、地域防犯力の向上と地域住民の防犯意識の高揚につながります。

防犯パトロールのポイントを確認し、自分たちの地域の実情にあった活動を行うことにより、みなさんと安全で安心して暮らせる地域をつくっていきましょう。

仙台市

子ども^{※注}を対象とした脅威事案発生状況(市内)

(※注:「子ども」は13歳未満)



増加傾向!

※資料は宮城県警察本部から提供されたデータを基に、仙台市市民局で作成

傾向

- ・下校時間帯(特に15~16時台)での発生が多い
- ・学校周辺の通学路や公園など路上や屋外での発生が多い
- ・声かけやつきまとい、公然わいせつの事案が多くを占める
- ・単独で行動している子どもが対象となりやすい
- ・小学校入学時~10歳までの年齢での被害が多い
- ・見回り活動が行われていないところなど、人の目が届きにくい場所で発生している

パトロールのポイント

- ◎犯罪の起こりやすい場所(ホットスポット)を重点的にパトロールする
⇒ホットスポットには一定時間(5~10分程度)とどまる
- ◎パトロールを行うたびに、パトロールのルートを変更しない
- ◎小学生の下校時間帯を中心に通学路周辺を見回る
- ◎日頃から学校や交番等と連携し、地域の実情にあった見回り活動を行う

犯罪の起こりやすい場所(ホットスポット)のチェックポイント

「誰もが入りやすく」「見えにくい」場所で、犯罪が起こりやすくなります。活動する地域を回って、次のような危険が潜んでいる箇所がないか、チェックしましょう!地域安全マップの作成も効果的です!

【路上(道路)】

- ・裏道や路地など見通しが悪く、人通りが少ない
- ・高い塀が並んで周囲の家などからの目が届かない

【公園】

- ・大きな樹木に囲まれており、周囲から公園全体を見渡すことができない
- ・外周がフェンスなどで囲まれておらず、どこからでも出入りができる

【駐車場】

- ・出入口の限定がなく、どこからでも出入りや通り抜けができる
- ・管理者や周囲の目が届かない(利用者以外の者が車を駐車していても不審に思われない)

【その他】

- ・落書きや不法投棄(ゴミ)が多い場所
 - ・立入禁止のロープなどで囲まれていない空き地や空き家
 - ・周囲から見通しの悪い非常階段
 - ・街灯が少ない、大きな樹木に囲まれているなど暗いところが生じている場所
 - ・人通りが多い場所(意識が分散し、心理的に無関心が生まれている場所)
- …など

